



福県医発第1184号(地)
平成27年 7月23日

各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会
会 長 松 田 峻一良
(公 印 省 略)

第七回薬物乱用対策研修会について

今般、標記の件につきまして、別添のとおり独立行政法人国立病院機構下総精神医療センターより福岡県保健医療介護部健康増進課こころの健康づくり推進室を通じて通知がありました。

国立病院機構下総精神医療センターでは、関係機関の連携により薬物問題に対応するという意識を高め、その連携体系の中で各専門職が果たすべき役割に関して理解を深めていただくことを目的に、本研修会が開催されます。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了解いただき、貴会会員への周知方よろしくお願いいたします。

なお、受講申込方法、受講料等につきましては別紙募集要項をご確認ください。

記

1. 開催日 平成27年11月11日(水)～13日(金)までの3日間
2. 会場 下総精神医療センター 2階会議室
〒266-0007 千葉県千葉市緑区辺田町578番地
3. 内 容 別紙募集要項及び日程表参照
4. 定 員 50名(定員になり次第受付終了)
5. 問合せ先 独立行政法人国立病院機構下総精神医療センター
研修会事務局(担当:寺内真弓)
〒266-0007 千葉県千葉市緑区辺田町578番地
TEL 043-291-1221(内線3007) FAX 043-291-2602
E-mail kusuri@hosp.go.jp

公印省略

27健第1937号

平成27年7月17日

福岡県医師会長 殿

福岡県保健医療介護部健康増進課

こころの健康づくり推進室長

(精神保健班)

第七回薬物乱用対策研修会について (通知)

本県の精神福祉行政の推進につきましては、日ごろから格別の御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、独立行政法人国立病院機構下総精神医療センターから別紙のとおり第七回薬物乱用対策研修会の開催案内が送付されましたのでお知らせします。

なお、申込み及び問い合わせについては、国立病院機構下総精神医療センターに直接お願いします。

また、福岡県域に所在する精神科病院に対しては、当室から別途通知しています。

福岡県保健医療介護部 健康増進課

こころの健康づくり推進室 精神保健班

担当：ト部 (うらべ)

TEL 092-643-3265 FAX 092-643-3271



薬物乱用対策に携わる関係者 各位

第七回薬物乱用対策研修会参加者募集のご案内

薬物乱用対策は関係機関が連携して進めるものでありますが、現状は効果的な連携体系が成立しているとは言い難い状況です。

当院は平成18年からの研究によりヒトが薬物摂取を反復するメカニズムを把握し、欲求を抑制する方法を見つけました。薬物摂取を反復したヒトの脳は、薬物摂取を促進する動物的な脳と薬物摂取を制御する人間的な脳に機能的に分かれています。

薬物摂取を促進する動物的な脳に対してそれを抑制する条件反射制御法を用いて、効果を上げています。この先、その技法等を用いて、薬物摂取を反復する病態への治療的対応が精神科医療やその周辺機関だけでなく、刑事司法体系の機関においてもなされることが期待されます。

一方で、薬物摂取を制御する人間的な脳に対しては、それが計画的な行動を司ることから、薬物使用事犯に対して刑罰で対応する制度が強力な効果を持ちます。この効果は援助側においても利用されるべきです。

治療による効果と刑罰による効果は両方とも、薬物摂取反復行動のメカニズムに照らし合わせたとき円滑に提供されるべきです。一見、困難であるように見えますが、援助側機関と取締処分側機関の連携を可能にする「 ∞ 連携」を当院は構想し、関係機関の協力を得て、我が国全体からみるとまだ小規模ですが、連携による薬物乱用者への対応を実務で展開しております。

協力機関と当院のこれまでの経験と現在の対応等をご紹介します、また、この先の課題等をお伝えして、関係機関の連携により薬物問題に対応するという意識を高めていただき、その連携体系の中で各専門職が果たすべき役割に関して理解を深めていただく研修会を開催致します。

この研修会を当院は平成21年から開始し、本年も引き続き開催致しますので、募集要領を同封してご案内させていただきます。

皆様方のご参加をお待ちしております。

平成27年6月19日

独立行政法人国立病院機構下総精神医療センター
院長 女 屋 光 基
薬物依存治療部長 平 井 慎 二

第七回薬物乱用対策研修会 募集要項

1. 目的

薬物乱用対策を成功させるためには、薬物乱用者に対する取締処分と援助、並びに薬物を乱用したことのない者に対する予防教育等の働きかけが各領域で円滑になされることが望まれます。

しかしながら、現在、薬物乱用者のとらえ方にも共通のものがなく、対応する各機関の協力関係が不良であり、効果的な対応はなされていません。

現状を改善するためにはまず、社会全体が一丸となって薬物乱用問題に対応するという意識の下に、薬物摂取反復のメカニズムに基づいて取締処分側と援助側の連携を構築し、その体系の中で各専門職が担う役割を果たす方法に関して共通の理解を深めなければなりません。

本研修会の講師は、薬物乱用者に各機関の第一線で対応している専門職であり、連携を意識した働きかけが紹介されます。また、ロールプレイにより各機関の効果と限界、および連携の方法の一部を仮想的に体験します。

それらの講義や討論を通じて、参加者は薬物乱用対策の中での自分の役割を認識し、他職種の機能を尊重して、効果的な連携を支える知識を習得します。

2. 実施主体

独立行政法人 国立病院機構 下総精神医療センター

3. 研修予定

1) 研修期間

平成27年11月11日（水）～平成27年11月13日（金）までの3日間

2) 研修会場

〒266-0007 千葉県千葉市緑区辺田町578番地

下総精神医療センター 2階会議室

3) 研修内容：別紙日程表をご参照ください。

4) 定 員：50名

4. 受講申し込みについて

1) 受講資格

①研修の全過程を受講できる方

②薬物乱用の予防、薬物乱用者への対応にかかわっている次の方

- ・取締、検察、裁判、更生保護、矯正等の刑事司法体系の職員の方
- ・教育、保健、医療（医師、看護師等）、福祉、社会復帰施設、作業所等の職員の方
- ・その他の形で薬物乱用問題の解決にかかわる方

2) 受講申し込み方法と受付期間

①HP上の専用申込フォームへ必要事項をご入力の上、送信してください。

※メールアドレスの入力が必要となります。添付文書を含むE-mailのやりとりにお差し支えないアドレスをお願いします。（携帯アドレスはご遠慮ください）

※お申し込みいただいた方には自動返信メールをお送りしておりますが、申込から3日程度以内に受付完了通知が届かない場合、大変お手数ですが事務局までご連絡ください。

②郵送、Fax、E-mail の場合

HP から申し込みフォーム (Word, PDF 形式) をダウンロードして郵送、FAX、E-mail で送信してください。

e-mail : kusuri@hosp.go.jp FAX : 043-291-2602

3) 受付期間 平成27年6月22日～8月31日まで

申込が定数に達した場合は、受付期間内であっても受付を終了します。

5. 受講者決定について

受講の選考結果については、平成27年9月20日までに各応募者に通知します。

6. 修了証書の授与について

所定の研修課程を履修した方には修了証書を授与します。

7. 研修受講料等について

①受講料30,000円 (資料代込み)

受講の決定通知と同時に振り込みのご案内を申し上げます。

受講料振込後の、受講者のご都合によるキャンセルの場合、受講料は返金いたしかねますので、ご了承ください。

②昼食について

研修会場の周辺には飲食店はございません。

希望される方はお弁当を手配致しますので、研修申込時に申込書にご入力ください。

代金は、研修当日受付にてお支払い願います。(1食約500円を予定)

③宿泊について

宿泊の手配を希望される方は、その旨を、研修申込時にご入力ください。

研修会場に近いホテルを仮予約致します。

④懇親会について

研修会初日に懇親会を行います。研修申込時に参加・不参加の旨をご入力ください。

代金は、研修当日受付にてお支払い願います。(参加費4,500円程度を予定)

なお、当日キャンセル時の払い戻しはできませんので、予めご了承ください。

8. 受講時の注意事項

研修中の録音、写真及び動画撮影は担当者以外、ご遠慮いただいております。

9. 研修会についての問い合わせ先

〒266-0007 千葉県千葉市緑区辺田町578番地

独立行政法人国立病院機構下総精神医療センター

研修会事務局：寺内真弓

TEL : 043-291-1221 (内線：3007)

FAX : 043-291-2602

E-mail : kusuri@hosp.go.jp

第七回薬物乱用対策研修会 日程表

日時:平成27年11月11日(水)～13日(金)

場所:国立病院機構下総精神医療センター会議室

日 時 等	講 義 題 (仮)	講 師 名 (敬称略) (下総は下総精神医療センター)
【第1日目】 8:50～9:20 受付 9:20～9:30 事務局オリエンテーション 9:30～9:40 開講挨拶 9:40～10:50 1. 行動原理と条件反射制御法 10:50～11:00 — 休憩・アンケート記入 — 11:00～12:00 2. 日本の自助活動の歴史と求められる展開 12:00～13:30 — 昼食・休憩・アンケート記入 — 病棟見学(1Group:30分) 13:30～14:30 3. 取締機関における薬物乱用者対策 14:30～14:40 — 休憩・アンケート記入 — 14:40～16:40 4. 薬物需要削減のための∞型連携体系 16:40～16:50 — 休憩・アンケート記入 — 16:50～17:50 5. ∞型連携における義務衝突と今後の課題 17:50～18:10 第1日目の講義に関する質疑と応答 18:45～ 希望者による懇親会		事務局 下総 院長 女屋光基 下総 薬物依存治療部長 平井慎二 日本ダルク代表、NPO 法人アパリ理事長 近藤恒夫 警視庁組織犯罪対策第五課対策第二係長 警部 市村雄介 下総 薬物依存治療部長 平井慎二 北海学園大学 法学部教授 飯野海彦
【第2日目】 9:00～10:00 6. 援助側職員による対応を取締職員が補う処遇 10:00～10:10 — 休憩・アンケート記入 — 10:10～10:50 7. 精神科医療と回復支援施設の連携 10:50～11:30 8. 薬物乱用対策における回復支援施設の役割 11:30～13:00 — 昼食・休憩・アンケート記入 — 病棟見学(1Group:30分) 13:00～13:40 9. 薬物乱用者に対する生活保護のあり方 13:40～14:40 10. 援助職が薬物事犯者を治療へ導入する試み 14:40～14:50 — 休憩・アンケート記入 — 14:50～15:50 11. 矯正施設から社会内施設への情報の提供 15:50～16:00 — 休憩・アンケート記入 — 16:00～17:00 12. 看護師主導による治療環境の安定化 17:00～17:30 第2日目の講義に関する質疑と応答		下総 薬物依存治療部長 平井慎二 下総 薬物専門病棟 看護師 池田未希 千葉ダルク 代表 白川雄一郎 下総 薬物専門病棟 副看護師長 西川はるみ NPO 法人アパリ 事務局長 尾田真言 汐の宮温泉病院 医師 中元総一郎 下総 薬物専門病棟看護師長 野沢リ子
【第3日目】 9:00～ 9:40 13. 保健福祉行政機関による薬物検査を用いた 薬物乱用対策の経緯と展開の方向 9:40～ 9:50 — 休憩・アンケート記入 — 9:50～10:50 14. 薬物事犯者に対する検察の業務 10:50～11:50 15. 薬物事犯の裁判における弁護活動 11:50～13:00 — 昼食・休憩・アンケート記入 — 13:00～14:00 16. (未定) 14:00～15:00 17. 医療観察法指定通院医療機関の関わる∞連携 15:00～15:10 — 休憩・アンケート記入 — 15:10～16:10 18. 薬物乱用者に対する更生保護のかかわり 16:10～16:50 第3日目の講義に関する質疑と応答 16:50～17:00 閉講式		下総 薬物依存治療部長 平井慎二 福井地方検察庁 検事正 森悦子 奥田総合法律事務所 所長 奥田保 ほっとステーション 大通公園メンタルクリニック 院長 長谷川直実 北海道地方更生保護委員会 事務局長 生駒貴弘

申込みフォーム（第七回薬物乱用対策研修会）

FAX : 043-291-2602

E-mail : kusuri@hosp.go.jp

平成27年11月11日（水）～13日（金）の研修会に下記のとおり参加を希望します。

フリガナ

氏 名（.....歳）

所属機関

所在地 〒

電話番号 FAX 番号

E-mail アドレス@

※上記E-mailアドレスに、今後の研修会等のご案内もお送りいたします。
ご案内が今後ご不要な場合は、下記の□にチェック（✓）をご記入ください。

☐ 案内を希望しない

職 種（資格.....）

役 職

① 宿泊所紹介を希望の方は、下線部に○印を付してください。（仮予約をします）

11月10日（火）..... 11日（水）..... 12日（木）.....

② 昼食（弁当）希望の方は、下線部に○印を付してください。

11月11日（水）..... 12日（木）..... 13日（金）.....

③ 懇親会に参加される方は、下線部に○印を付してください。

11月11日（水）懇親会への参加を希望